

整理番号 00170

作成：平成 13 年 7 月 1 日

改訂：平成 29 年 1 月 31 日

## 製品安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） **Iron Chip Accelerator**

鉄チップ助燃剤

#### 販売者情報

会社 **LECO ジャパン合同会社**

住所 〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当 **SDS 担当者**

電話番号 (03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

#### 製造者情報

会社 **LECO Corporation**住所 **3000 Lakeview Avenue****St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A**

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理化学的有害性	分類対象外
健康に対する有害性	分類対象外
環境に対する有害性	分類対象外
OSHA 定義による有害性	可燃性ダスト

#### ラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	混合物は分類基準に該当しない。

#### 使用上の注意

予防	ダストを吸入しない。産業衛生に気を配る。
取扱い	使用後は手を洗う。
保管	蓋をしっかりと閉めておく。
廃棄	各地方自治体の規則に従う。
その他の危険（HNOC）	知られていない
追加情報	なし

### 3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名	: 鉄
成分及び含有量	: 99%以上
CAS No.	: 7439-89-6
官報公示整理番号（化審法・安衛法）	: 対象外
安衛法通知対象物質	: 対象外
PRTR 法	: 対象外
国連分類及び国連番号	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当

### 4. 応急措置

吸入した場合	ダストを吸引した場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し、症状が持続又は悪化した時は医師に連絡すること。呼吸が停止した場合は、人口呼吸を行う。
皮膚に付着した場合	水と石鹼で洗うこと。 症状が持続又は悪化した時は医師に連絡すること。
眼に入った場合	水ですすぐ。 症状が持続又は悪化した時は医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状	眼に直接入った場合は、一時的な炎症が起こる場合がある。
応急措置及び特別注意事項	症状に応じた一般的な対症療法を行う。
一般情報	関連製品の情報を医療関係者へ周知し、適切な予防措置を取る事。

### 5. 火災時の措置

消火剤	ドライケミカルパウダー、乾燥砂
使ってはならない消火剤	水
特有の危険有害性	火災により有害なガスを発生する恐れがある。
消火を行う者の保護	火災時には自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
消火器具及び方法	通常の消火方法を取りその他の関連する危険物を考慮する。
特有の消火方法	入手不可
火災の危険性	入手不可

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急措置

関係者以外を退避させる。ばく露限界を超えた  
ダスト/フュームに晒される危険がある場合は、  
NIOSH/MSHA 認可の保護マスクを用いる。漏出物質から  
のダストの吸い込みを避ける。閉鎖された空間に入る際は、  
事前に十分な換気を行う。

回収方法及び道具

汚染された場所を箒などで掃く際は、製品が反応しない  
ように、粉じん抑制剤を必ず使用する。箒又は掃除機で  
吸引し廃棄に適した容器に集める。粉じんの発生、堆積を  
出来るだけ避ける。

環境に対する注意事項

排水、水路及び地面への排出を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項

ダストの発生、蓄積を最小限に抑える。ダストが発生する  
場所には適切な換気設備を設ける。眼、皮膚、衣類への  
接触を防ぐ。ダストの吸引を避ける。長期間のばく露を  
避ける。換気の不十分な場所では、適した保護マスクを  
着用する。整理整頓を心掛ける。

安全な保管条件及び混触危険物質

製品の入っている容器のまま密閉し、乾燥した、換気の  
良い場所で保管する。ダストの堆積を避ける。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度（ばく露限界値）

US. OSHA（労働安全衛生法）表 Z-1 空気汚染許容濃度（29 CFR 1910-1000）

成分	タイプ	値	形状
酸化鉄ダスト CAS : 1309-37-1	PEL	10 mg / m <sup>3</sup>	ヒューム

US. ACGIH（産業衛生専門家会議）ばく露限界値

成分	タイプ	値	形状
酸化鉄ダスト CAS : 1309-37-1	TWA	5 mg / m <sup>3</sup>	吸入区分

US. NIOSH（化学物質の危険有害性ポケットガイド）

成分	タイプ	値	形状
酸化鉄ダスト CAS : 1309-37-1	TWA	5 mg / m <sup>3</sup>	ダスト/フューム

生物学的限界値  
設備対策

生物学的ばく露限界値は設定されていない。  
十分な換気を行う事で、取扱いや熱処理で発生するダストやヒュームを効率的に取り除き、蓄積を防ぐ。  
ダスト発生量を職業ばく露限度（OEL）以下でコントロールすることが難しい場合は、適した保護マスクを着用する。

保護具

眼/顔の保護

ダストが発生する場合はタイトフィット型ゴーグルを着用する。サイドシールド付きメガネ（又はゴーグル）を着用する。

皮膚の保護

手

保護手袋とハンドクリームを使用する。

その他

適切な保護衣を着用する。

呼吸器の保護

ダスト/フェームがばく露限界以上の場合は、NIOSH/MSHA 認可の保護マスクを着用する。

熱からの保護

必要に応じて熱保護衣を着用する。

一般的な衛生対策

飲食はしないこと。飲食や喫煙の前に手を洗うなど、常に衛生環境に気を配る。作業着、保護具類は定期的に洗濯清掃する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

固体

形状

チップ状

色

灰色

臭い

なし

臭気限界

入手不可

pH

入手不可

融点・凝固点

融点：1538℃、凝固点：1538℃（推定）

初留点及び沸騰範囲

2861℃

引火点

入手不可

蒸発率

入手不可

燃焼性（固体、ガス）

入手不可

燃焼又は爆発範囲

燃焼範囲-下限（%）

入手不可

燃焼範囲-上限（%）

入手不可

爆発限界-下限（%）

入手不可

爆発限界-上限（%）

入手不可

蒸気圧	入手不可
蒸気密度	入手不可
相対密度	入手不可
溶解度（水）	不溶
分配係数（n-オクタール/水）	入手不可
発火点	入手不可
分解温度	入手不可
粘度	入手不可
その他情報	
分子式	Fe
分子量	55.85 g/mol

## 10. 安定性及び反応性

反応性	この製品は通常の使用、保管及び運搬方法において、安定で反応性はない。
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	通常の使用下での危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	ダストを空中に散布しない。（圧縮空気でダストを吹き飛ばすなど。）熱、火花、裸火を避ける。全ての着火源を避ける。
混触危険物質	酸類
有害な分解生成物	入手不可

## 11. 有害性情報

起こりうるばく露に関する情報	
飲み込んだ場合	通常の使用下での健康被害は知られていない。
吸入	長期間の吸入は有害の恐れ。
皮膚	炎症を起こす恐れ。
眼	ダストが目には炎症を起こす恐れ。
物理的・化学的・有害性特性に関連した症状	眼に直接接触した場合、一時的に炎症を起こす。
毒物学的影響に基づいた情報	
急性毒性	入手不可
皮膚腐食性・刺激性	長期間のばく露は一時的な炎症を起こす。
重篤な眼の損傷・眼刺激	ダストが目に入ると炎症を起こす。
呼吸器又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	データ不足により分類不可
皮膚感作性	データ不足により分類不可
生殖細胞変異原性	データ不足により分類不可

発がん性

IARC 研究論文、Overall Evaluation of Carcinogenicity

酸化鉄ダスト (CAS 1309-37-1) : 3, 人への発がん性は分類できない

OSHA 特定規制物質(29CFR 1910.1001-1050)

記載なし

生殖毒性	データ不足により分類不可
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類されていない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類されていない
吸引性呼吸器有害性	データ不足により分類不可
慢性的な影響	長期的な吸入は有害な恐れ

## 12. 環境影響情報

生態毒性	この製品は環境的に有害な物質として分類されていない。しかし、大規模又はくり返しの環境への流出が、環境へ有害な影響をもたらさない事を保証している訳ではない。
------	---

鉄 (CAS 7439-89-6) 水生

成分	種	結果
魚類 LC50	ブチナマズ ( <i>Ictalurus punctatus</i> )	> 500 mg/l, 96 時間

残留性/分解性	この製品の分解性に関するデータなし
生体内蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響 (例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成、内分泌かく乱、地球温暖化など) は考えられていない。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄手順	収集、再利用及び廃棄は、密閉容器の状態で、認可を受けた廃棄物業者が行うこと。
地域の廃棄規則	各地方自治体の規則に従い廃棄すること。
危険廃棄物コード	使用者、生産者及び廃棄物業者間で協議し、廃棄物コードを割り当てること。
残余廃棄物/未使用製品	各地方自治体の規則に従い廃棄すること。水路や地面への投棄は避ける。
汚染容器及び包装	入手不可

## 14. 輸送上の注意

DOT (米国運輸省)	危険品としての規制なし
IATA (国際航空運輸協会)	危険品としての規制なし
IMDG (国際海上危険物規定)	危険品としての規制なし

## 15. 適用法令

なし

## 16. その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS (05/27/2014)	: LECO Corporation
	JIS Z7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ラベル、 作業場内の表示および安全データシート	
	化学便覧	: 丸善
	職場の安全サイト	: 厚生労働省
	NITE 化学物質総合情報提供システム	: 独) 製品評価技術基盤機構

作成	平成 13 年 7 月 1 日	
改訂	平成 21 年 10 月 13 日	法令見直し
	平成 22 年 3 月 1 日	法令見直し
	平成 23 年 7 月 11 日	法令見直し
	平成 24 年 6 月 15 日	法令見直し
	平成 29 年 1 月 31 日	書式、法令見直し

\* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。